

大阪湾漁場環境速報

平成20年 2月 8日発行
兵庫のり研究所

1月下旬より、キートセロスやユーカンピア等の珪藻が大量発生し、栄養塩濃度が急激に低下しています。今後の動向に十分注意して下さい。また、詳細は、本日(2/8)発行の珪藻赤潮情報(K0-19-3号大阪湾)をご覧ください。

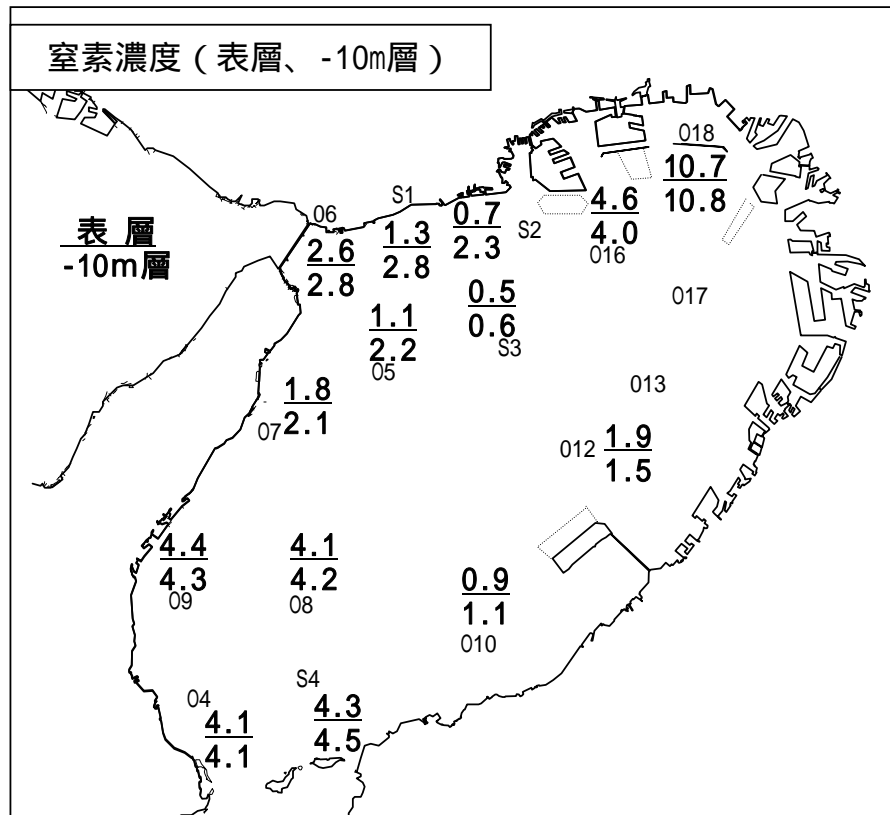
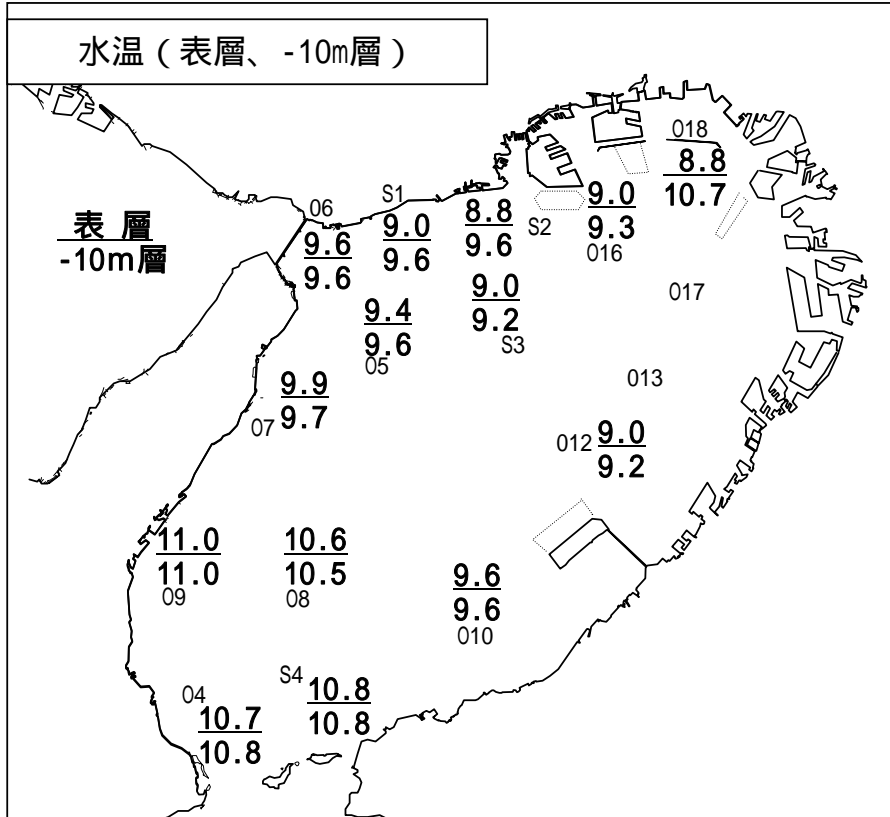
(水温)表層は湾内8~11 台で、平均9.7。 平年(過去10年平均 9.3)比0.4 高く、昨年(10.9)比1.2 低い。-10m層は平均9.9 で、平年(9.6)比0.3 高い。

(塩分)表層平均32.67psu(平年 31.72)。-10m層平均32.91psu(平年 32.21)。

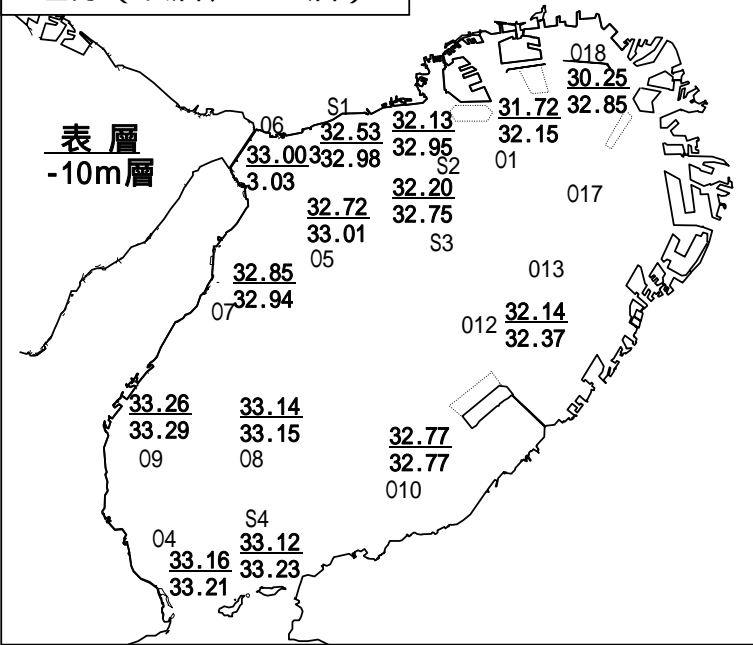
(栄養塩、他)表層の窒素濃度は平均2.5 µg-at/L、リン濃度は平均0.25 µg-at/L。窒素・リンとも平年(9.6, 0.34)より低い値を示している。-10m層(平均)は、窒素2.8 µg-at/L、リン0.33 µg-at/L。窒素は、紀伊水道から流入する海水の影響を受ける海域では4 µg-at/L台の値を示しているが、湾奥部を除く海域全般に低い値であった。神戸市沿岸・沖~湾奥部~大阪府沿岸(関西空港沖)まで広範囲に、キートセロス(*Ch. sociale* 他 数種)およびユーカンピアが大量発生し赤潮を形成している。一部で海水が褐変しており、この時期としては強い赤潮が確認された。ユーカンピアは多い所で海水1mlあたり400細胞以上認められた。キートセロスは、塩分濃度が低い海域で特に多い状況。また、コシノディスカスはほとんど認められなかった。透明度は2.5~5.0mで、平均3.7m。pHは表層平均8.30。

上段(今回値)	平成20年2月7日調査
中段(昨年値)	平成19年2月6日調査
下段(平年値)	

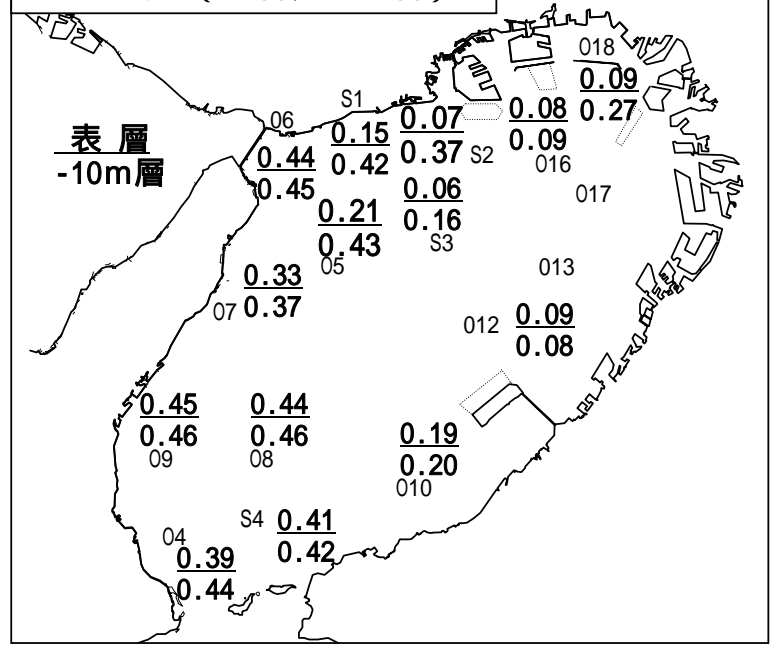
調査地点	水温()	塩分(psu)	三態窒素(µg-at/L)	磷酸(µg-at/L)
04	10.7	33.16	4.1	0.39
	12.6	32.85	5.9	0.48
	10.6	32.72	7.3	0.46
05	9.4	32.72	1.1	0.21
	11.3	32.21	6.8	0.56
	9.5	31.99	7.7	0.39
06	9.6	33.00	2.6	0.44
	11.2	32.24	6.3	0.52
	9.2	31.92	8.8	0.42
07	9.9	32.85	1.8	0.33
	11.7	32.26	5.7	0.51
	9.2	31.93	6.7	0.32
08	10.6	33.14	4.1	0.44
	11.1	31.86	3.1	0.18
	10.0	32.22	6.6	0.37
09	11.0	33.26	4.4	0.45
	11.2	31.98	4.5	0.29
	9.9	32.35	6.5	0.41
010	9.6	32.77	0.9	0.19
	10.3	31.56	3.7	0.09
	8.9	31.74	6.8	0.21
012	9.0	32.14	1.9	0.09
	10.2	31.38	5.5	0.08
	8.8	31.36	9.7	0.22
013				
	8.4	30.79	18.9	0.29
	9.0	31.72	4.6	0.08
016	9.9	30.10	20.9	0.26
	8.3	30.06	20.8	0.30
017				
	8.7	29.79	60.7	1.13
	8.8	30.25	10.7	0.09
018	10.6	28.05	60.3	1.04
	8.4	27.31	62.8	1.41
	9.0	32.53	1.3	0.15
S1	9.8	30.55	15.9	0.13
	8.7	31.33	12.6	0.32
	8.8	32.13	0.7	0.07
S2	9.4	30.03	20.3	0.22
	8.4	30.78	15.3	0.25
	9.0	32.20	0.5	0.06
S3	11.2	32.13	6.9	0.45
	9.2	31.50	10.3	0.33
	10.8	33.12	4.3	0.41
S4	12.3	32.66	5.1	0.39
	10.1	32.46	6.2	0.38



塩分 (表層、-10m層)



リン濃度 (表層、-10m層)



珪酸塩濃度 (表層、-10m層)

